



「2008フェア・エイト」会場風景

多摩地区8市（八王子、府中、調布、町田、日野、狛江、多摩、稲城）市政施行順）のシルバー人材センター（SC）で構成する第七ブロックの祭典「2008フェア・エイト」が10月22日、日野市生活・保健センターで開催されました。他SCも含め計

「高齢者の生きがい充実と心身の健康づくり」 8市SCフェア・エイト開催

215名が参加しました。午前9時半、当センターの池田和宣常務理事の司会で開会。フェア・エイト実行委員長として井口義雄日野市SC会長が挨拶し、馬場弘融日野市長が祝辞をのべました。

岡准教授が基調講演

開会式に続いて基調講演。埼玉大学教育学部の岡幸江准教授



講演する岡准教授

会員発表会、健康教室など

さらに、日野市保健師によるメタボ測定と予防のための健康教室、各SC代表による「私の生きがい・健康づくり」の会員発表会と、メインテーマに沿った企画が午後も続きます。アトラクションは、森ヶ家二八氏の落語。「時そば」などを例に「落語に学ぶ江戸の知恵」の口演を、一同楽しみました。

中面に折込み、6ページ建て

月刊
さわやか

第19号
平成20年11月15日

《発行》
（社）日野市シルバー人材センター
日野市日野本町2-4-7
0421581-8171

会員数
平成20年9月30日

1,635名
男性 1,251名
女性 384名
入会者数
9月 15名
(男10名、女5名)
但し、退会者4名

日野市シルバー人材センター 設立30周年記念式典

11月22日（土）午前10：00～12：00 / 日野市民会館大ホール

[第1部 式典] 式辞・祝辞、感謝状・表彰状贈呈など

[第2部 アトラクション] 村上敏明ファミリー・コンサート

全会員に記念品を贈呈します。式典参加者には紅白饅頭を進呈（ただし会員のみ）。

ご来場の際は、「出席票・記念品引き換え券」をお忘れなく！

コンサートには会員のご家族の方々も、ぜひご来場ください！10：45ごろ開演。

式典もコンサートも、ふだん着でお越しください。



村上敏明氏

入会案内説明会

身近な会場で開催

当センターの入会案内説明会は、昨年4月以来、センター会議室のほか各地域の身近な会場で開催しています。

10月17日午前10～12時、JR豊田駅北口の勤労・青年会館でこの月2回目の入会案内説明会がおこなわれました(毎月2回開催)。今回は計9名(男性6名、女性3名)が参加しました。参加規模は時期や場所によつてまちまちで、多いときには20～30人にも。傾向としては、前年に比べやや増えています。説明会は最初に、シルバー人

材センターの概要を説明するビデオ上映。「最近、元気なお年寄が増えていきますよ。皆さん、シルバー人材センターで働いているからです」と、ナレーター役のタレント・山田隆夫さんが明快に語ります。



勤労・青年会館での説明会

「ボランティア」で白熱討議

第4回地域班長会議

「ボランティア活動はあくまでボランティアのはず。強制するものではない」

「いや、それでは出て出なくていいことになってしまう。私は1回でもぜひ参加してください」と呼びかけている。

10月15日の第4回地域班長会議は、ボランティア活動のあり方を

めぐって白熱した討議となりました。

最近、ボランティア活

動に参加する人としていない人、参加者の多い班と少ない班の2極傾向が目立ち始めています。これまでも地区リーダー会議などで問題になっていましたが、今回は班長同士がお互いに「ボランティアへの姿勢」を問いたたす討議に発展しました。「ボランティア」の呼称を変えてみては、との意見も。

理事)による当センターの事業内容の説明。仕事の配分、配分金の平均額、共働・共助によるシルバー生活の基本などについて具体的に話しました。最後に参加者一同は、シルバー会員が就業している近くの駐輪場を見学しました。

『月刊さわやか』を

市庁舎に設置

日野市庁舎の第1玄関を入つたすぐ右側の広告棚に、数十部の『月刊さわやか』が置かれています。池田常務理事の発案と尽力で実現しました。



『月刊さわやか』(左上)を設置した広告棚



理事会ニュース

第8回理事会 10月31日
・審議事項 正会員の入会、就業規約の一部改正等
・報告事項 9月度事業運営状況、各専門部会・安全管理委員会での活動報告

「センター」行事日程

11月16日(日) 全地域班いっせい清掃
11月20日(木) 23日(日) 会員作品発表会 市民会館
11月22日(土) 30周年記念式典 市民会館大ホール
12月14日(日) リサイクル・フェア リサイクル事務所

日野彩友会第3回絵画展

12月2日(火)～7日(日)
午前10時～午後5時
豊田市民ギャラリー「お問い合わせ」松坂 593-4379

配分金の支払日

- 11月20日(木)
- 12月19日(金)
- 1月20日(火)
- 2月20日(金)
- 3月19日(木)
- 4月20日(月)
- 5月20日(水)

地域班会議での質問に

お答えします

今年度「春の地域班会議」で寄せられた質問から17項目にわたってお答えします。

1 リサイクル事務所の販売促進について。ごみカレンダーに、リサイクル事務所の事業内容と電話番号が記載されていることを知らない会員が多い。もっと一般の方を含めてPRして欲しい。

回答 これから積極的にPRしていきます。

2 第56回定期総会で、質問者の直接質問がなく、また事前質問事項も回答を読み上げるのみで、ほとんど内容が伝わらず物足りなかった。

回答 時間の制約がありますので、質問のある方は事前に文書で提出していただくことになっていきます。また、回答はわかり易く説明するようにします。

3 就業者の適性は何を基準に決められているか？

回答 これまでの就業実績がどうであったか、などを基準にしています。

4 ボランティア活動などにはほとんど参加されていない人の扱いを、事務局ではどのように考えているか？

回答 会員としての務めであり、積極的に参加をしていただくよう促していきます

5 会員意向調査について、85%の回収率だそうだが15%の人は脱会はしたのか。会員をおどかす体制は理事全員が了解したのか？

回答 未回答の人は、全員は退会していません。退会を促す

ような表記は今後改めます。

6 理事の選任の際、理事の経歴が解からず信任のしようがないので、シルバーの会員になってからの経歴を記載できないか？

回答 経歴の内容や記載方法など対応を検討します。

7 安全対策など事前の対策は承知しているが、事故があった場合、その後の結果報告を知らせて欲しい。

回答 安全対策の基本姿勢は「自己管理に始まって、自己管理に終る」ということです。報告については、許された範囲内において報告します。

8 『月刊シルバー人材センター』（全シ協発行）の閲覧が出来るように掲示して欲しい。（他のSCより今回SC会員になった新入会員からの要望）

回答 閲覧できるように検討します。

9 指定管理者制度に対する、対応策はどうなっているか？

回答 事業の将来を左右することになることなので、慎重に対応し、引き続き勉強してまいります。

10 仕事に関して、業務マニュアル、標準作業規定などが完備されておらず、同じ作業間でも作業時間に不公平感がある。作業リーダーの主観に大きく左右されているのはおかしい。

回答 業務マニュアルは職場で整備していくものです。職場の会員全員でマニュアルを作成し、全員がそれに基づいて仕事を進めていくことです。

11 最近のトラブル、不祥事に関して、具体的な実例を公表して欲しい。自分達にも関係すること他人事ではない。

回答 今まで公表してきませんが、今後可能な限り公表いたします。

12 統括リーダーについて。現状ではこの機能が不十分でないか？

回答 問題が起きているところの相談を受け、その解決に努力しているが、少々力不足があることは否めない。少しづつ勉強して、経験を積んで力をつけていきたいと考えています。

13 会員が増えないのは、シルバーに魅力がないからではないのか？

回答 企業の雇用延長などいろいろな状況変化があると考えられます。

14 事業活動収支説明の資料で、事務費、材料費等の勘定科目の意味がわからない。『月刊さわやか』の「それってなに？」などで解説したらどうか。

回答 その方向で対応します。

15 企業公社とシルバーの関係は？

回答 仕事をいただいているお得意先です。

16 自転車関係の就業については、トラブルが起こらないように、グループで研修する必要があるのではないか？

回答 研修を計画しています。

17 多摩川・浅川クリーン作戦のとき、スタートする時点までは、担当が一人集合場所に残るべきである。

回答 そのような方向で検討しています。

「年賀状」印刷を承ります
(喪中ハガキもあります)

サンプル掲不センター入り右の部屋
受付 随時 (581-8171)
お渡し 通常5日後
締切日 12月19日(金)
パソコン班 PC支援業務グループ

民間の就業情報は
テレフォン・サービス

(581-0555)
またはホームページで

<http://www.hinocatv.ne.jp/~hsc/>

「生き生きカルチャー教室」講師募集(4月開講分)

申込み(詳細) 11月25日
(火)までに担当・山口へお電話を。 581-8171

講座例

1 文学歴史教養講座

古典、漢詩、小説、短歌、俳句、川柳、歴史など

2 アート講座

水墨画、絵手紙、木版絵、ちぎり絵、写真、生け花、茶道、書道、ペン字、手芸、パソコンワーク、工芸など

3 外国語講座

韓国語、中国語、英語、フランス語、スペイン語など

筆耕勉強会のお知らせ

毎月第1金曜日(14時)に当センターで自習形式の筆耕の勉強会をおこなっています。

筆耕とは、賞状や封筒宛名書き等、報酬を受けて書き写したり、清書したりするものです。書道の段とは関係なく、基本に忠実に書けることが前提です。

12月5日(金) 14時の勉強会に参加希望の方は、事務局・山口までお申込み下さい(テキストの用意があるため、当日の直接参加はできません)。参加は10名まで。

シルバー人材センターの家事援助サービス

お宅の中の「困った」をお手伝いします

洗濯・布団干し 庭掃除・草取り ごみ出し・片付け お買い物 お留守番
草花の水やり 食事づくり 室内清掃 トイレ・洗面・風呂場……
基本時間は2時間以内 / 1960円(交通費別途)

日野市シルバー人材センター Tel:581-8171 Fax:584-8390

日野市シルバー人材センター設立30周年記念行事

第12回 会員作品発表会

開催：11月20日(木) ~ 23日(日) / 日野市民会館2・3階展示室

10:00 ~ 17:00 (ただし20日は13時から、23日は16時まで)

出展品目：2階=絵画、写真、手工芸品、パッチワーク、紙漉き、飾り炭、能面、布絵

3階=書、水墨画、模型、彫刻、その他

今回は従来になく幅広い会員の皆様の作品を出展しています。

3階展示室では、お抹茶のサービスもあります(ただし22日午前と23日午後はお休み)。

~ 多数の会員の皆様、ぜひご観覧ください! ~

就業年齢制限規程の改正について

再録 詳報

前号でお知らせした「就業年齢制限の設置に関する規程の一部改正」について、改めて説明します。

改正点は別表のとおり、公共部門4グループ・7業種の年齢制限に関するものです。従来は就業の開始日を基準としていましたが、改正では就業の終了時を基準とします。

従来どおり就業期間を3年とすれば、基本的には同じことで就業年齢制限が引き上げられたわけではありません。(ただし小学校事務補助は実質2年延長)。

しかし従来は、たとえば市内公園作業では就業終了時の年齢が73歳でも、70歳以下しか応募できませんでした。改正後は期限の1~2年前、71歳、72歳でも応募可能となり、制限規程の適用がより柔軟となります。

ただし、植木班、草刈班、草取班は、従来どおり終了時年齢による規程です。新規規程は10月1日から施行されています。

刃物研ぎ会員募集中!

刃物研ぎは難しい! そんな思いがありませんか。新しい技術を導入した道具を使えば、あなたも今日から刃物研ぎ師。町に出かけ拠点を決めての作業となります。あなたの技術で切れ味のある包丁を、ぜひご参加を! 6回程度の技術指導を予定しています。

参加者に対して12月中旬に説明会を行います。

詳細については、事務局まで問い合わせください。

581 8171

職種	新	旧
	就業終了時年齢	就業開始日年齢
小学校事務補助	70歳	65歳以下
市内公園作業業務	73歳	70歳以下
小学校校舎管理補助、宿直業務、市内各公園巡回ごみ処理業務	75歳	72歳以下
駅周辺自転車整理業務	78歳	75歳以下

リサイクル・フェア

12月14日(日)に開催!!

会場=リサイクル事務所

(ふれあい橋北側)

再生家具、再生自転車(20台限定)を廉価販売します。地場野菜、模擬店も取り揃えています。(042-581-5960)

日野市リサイクル事務所

それってなに? 事務費・材料費

センターは仕事が完成したとき、受注先に契約額を請求します。その内訳は、労務費、その仕事のための材料・部品・消耗品等の費用、事務局・専門部会等センターの運営・管理経費からなります。このうちが会員に支払われる配分金、が材料費、が事務費です。事務費も材料費も使途から見れば経費ですが、実態は収入の一部であり、予算や収支計算書には「事務費収入」「材料費収入」の科目名で載っています。

公園就業会員に安全研修

センター独自で刈払機講習会

10月29日朝、市民の森スポーツ公園近くの雑草におおわれた空き地に、シルバー帽の人たちが集まりました。公園就業会員22名をはじめ総勢30名余。

当センター初の公園就業者のための安全研修会です。研修内容は刈払機の取り扱いと操作。事務局、安全管理委員会、草刈班等の協力で実現しました。

公園関係統括リーダー、橋本理事の指揮の下に一同参集。井口会長と池田事務局長が挨拶しました。続いて本日の講師役、山中安全管理委員(草刈班)が



講師の模範実技を見学

機器取り扱い・操作について説明。これには市の担当職員(緑

と清流課)も参加しました。

講習の後は、草刈班の赤堀班長も参加し、4班に分かれて刈払機の実習。初めての会員は「やってみて為になつた」と語っていました。最後に、伊藤安全管理委員長が「公園での安全就業を高め、事故をなくするため、会員同士が教え合う共働・共助を發揮した」と挨拶しました。

さわやか安全大会での丸山指導員の講評から

大倉さんの話にありました植木班の声かけ運動こそ、シルバー人材センターの本当の姿ではないだろうかと思えますね。お互い同士助け合つて、お互い同士で働くという共働・共助。これを典型的に表したのが、大倉さんの「声かけあつて、守ろう安全」ではなからうかと思えます。

声かけ運動

私は2年前にこの仕事(安全・適性就業ハトール指導員)を引き受け、各センターのいろんな機関誌を読む機会がありました。この日野市の「声かけあつて」をどこかで見ましたね。「あつ、すごいことをな

事故が急増しています！安全就業の徹底をさらに

前号で当センター今年度の事故発生状況(計3件)をお知らせしましたが、その後2件発生。8、10月に集中して5件と、事故が急増しています。

新たな2件は、スーパー補助作業の男性(69)が商品を落下させて破損(9月18日、賠償事故)、幼稚園用務員(66)が脚立から落下、腰部強打で通院5日(10月15日、傷害事故)。

「不注意は人間特性の代表的なもの。それを補う手段はKY活動などがありますが、お互い同士が声かけあつて注意していくのも有効な手段です。そして、今日の発表にはありませんでしたが、「指差し呼称」も非常に有効な手段なんです。昔の国鉄で發明された安全確認の方法です。駅のホームで駅員が指差して「なにになにによ

果物

清野 啓子

店先に、大人でも抱えきれない西瓜が山積みになっている。一個五百円。ゴクンと唾を飲み込み、「これじゃ食べ切れない」と諦めて桃を買った。

冷やした桃を二個出して、家族三人で食べることにした。夫はいつも外側の甘いところを食べるので、今日は娘に分配を任せてみた。「アポガドを切る要領でやれば均等に分けられるでしょう」と、娘は得意気に言う。

月の形に姿を変えた桃がガラスの器に盛られた。どれも美味しそうだ。幸せを分かち合えた思いで私は満足したが、夫は外側の甘いところだけを齧つてあとは残してしまった。

西瓜買いを断念したと知った夫は「甘いところだけ食べても元がとれたのに」と、くやしそうにくり返す。
幸せの平等は、なかなかむずかしいものだ。

.....
当センター主催「エッセイ教室」(関根敦子講師)の受講生の方の作品です。関根先生監修。